THE SUGGESTION
# 提言

中小企業組合総合研究所機関紙
8月1日
第139号（2017年）

発行所
一般社団法人 中小企業組合総合研究所
〒533-0032 大阪市東淀川区淡路3-6-31 協同会館アソシエ2F
電話 06-6328-5577 FAX 06-6328-5588
URL http://www.kumiaisouken.com/

**提言・約束事**

1. 基本的には読者参加型の提言新聞とします。併せてニュース解説や話題を提供します。
2. 投稿の場合、社会規範に反するものは受付けません。原稿掲載はスペース等の関係もあり編集者の判断にお任せ下さい。

## 社会的連帯経済の実践に学ぶ 6・30シンポジウム

「社会的連帯経済の実践に学ぶ 6・30シンポジウム」が6月30日、協同会館アソシエで開催された（主催：同実行委員会／後援：特定非営利活動法人 関西友愛会）。山形県の置賜地方で市民主導の循環型町づくりによる自給圏を確立し、自らも農民として働く菅野芳秀氏を招いて講演会を行なったほか、組合総研・武代表理事とパネルディスカッションを行なった。3市5町にまたがる山形県置賜地方で、土・森・水といった地域の資源を基礎に、農食・エネルギー・住・教育の自給圏づくりを地域全体で行う自給圏づくりの菅野氏講演は、今や世界的な潮流となりつつある社会的連帯経済の確立に向けて、非常に参考となった。




### 農協と自民党の政策で ダメになった土を再生する

菅野氏（写真左）は置賜自給圏について、「効率やコストという物差しではなく、循環とか持続性、命や健康、そういうものを何よりも大事にしていますので、グローバリズムの世界とは最も距離を置いた地域づくり」と、市民や自治体が主人公の町づくりだと最初に強調した。

そして、映像で地域の模様や農作物に含まれる栄養成分の表などを紹介。驚くべきことには、一般的に販売されている国内産ピーマンに含まれるビタミンAの含有量が1954年からの50年間でほぼ10分の1になっていること。その他のビタミンも3分の1になっていて、それらは他の国内産野菜でも同じということである。この食品成分表を見た聴衆は一様に驚きを隠せなかった。

その原因として「長い間の自民党や農協の政策で、農薬と化学肥料による農法が促進されてきた結果、作物を育てる"土"がダメになった」と語った。

そして、「ほうれん草を植えたらほうれん草らしきものは育つが、今やその中身は私たち60歳台が昔に食べていたものとは違う」と、聴衆に衝撃の事実を伝えた。「作物に含まれる栄養素は土から吸収される。その栄養素とは、その土地が何万年にわたって培ってきた土に含まれる有機物」だとして、菅野氏は土を再生するところから始めた。

昔は農家に牛や豚がいて糞尿を肥糧にできたが、今は農家に家畜がいない。そこで地域の約9千世帯から出る生ごみを集め、それを肥料に改良したという。やがてその取り組みが広がっていき、自治体を巻き込んで「たい肥センター」が完成。そうして循環型の町づくりの「レインボープラン」が出来ていった。

20年以上経過した現在、全国から注目を集め、毎年多くの視察者が訪れる。最後に菅野氏は「未来を担う子どもたちにボロボロの土を引き継がせることなどできません。国の言いなりにならず、住民が主役で地域需給の観点に立った町づくりの参加型民主主義が大事です」と語った。




### 資本主義の終焉と 社会的連帯経済の幕開け



続いてパネルディスカッションに移り、まず組合総研の武代表（写真右）が、同様の循環型の町づくりを進める岩手県葛巻町へ視察に訪れたことを紹介。菅野氏の講演については、「地球が誕生して48億年。その間、動植物の遺体が土となって有機物を形成してきた。効率が良いからと化学肥料や農薬を使い、安いからといって外国産の食糧に依存する。そうしているうちに日本の農家や農業が破壊された。大量生産、大量消費の資本主義で人々の命や健康はないがしろにされてきた。しかし、それはもう終焉に差し掛かっていることがお話の中にあった」として、資本主義経済になり代わる社会的連帯経済の必要性を訴えた。

次に関西での生コン労使の取り組みとして、中小企業と労働組合が協力して大企業の収奪と闘っていることや、沖縄基地問題や反原発運動にも取り組んでいることを紹介。そして聴衆として参加していた経済学者の津田先生を指名して、同氏に社会的連帯経済の広がりや、GSEFソウル宣言のことなどを語っていただいた。

最後に武代表は、「経済成長が不公平を作り出し、失望した人々を作って、社会的不安を作っている。社会的連帯経済の取り組みや菅野さんの自給圏をつくる運動はその対極にあり、一致している。民主主義の根幹を成すのは法の支配だが、安倍首相は『私が責任者だ』といって民主主義的機能を破壊している。それに対して、我々は全国的にネットワークを作り、一致できる課題で立ち上がっていくことで、世の中の健全化を図っていくことができる」とまとめた。

## 主張 「8・15終戦の日」ではなく「9・2敗戦の日」 降伏文書調印の日の記憶こそ

8月15日、72回目の終戦記念日が来る。この日は世界史的に見れば第二次大戦が終了した日ではない。事実8月15日以降も各地で戦闘は続いた。1955年ごろまでは新聞各紙も「9月2日敗戦の日」との論調が主であった。米国では8月14日に日本が降伏すると報道されていた。

◆

降伏文書調印式は1945年9月2日、東京湾上に浮かぶ米戦艦ミズーリ号で行われた。

8月15日は昭和天皇の玉音放送により日本の降伏が国民に公表された日である。皇居前で泣き崩れる国民の姿を映像でダブらせ、それで全ての戦いが終結したかのような印象の刷り込みでなされたものだ。その理由は、8月15日以降にソ連軍が北方領土や満州に侵攻したことを「共産軍の非道ぶり」と宣伝ができて、反共陣営には都合がよかったのだ。

◆

わが国を凶暴な戦争国家に導いた軍国主義。それを支えた政治、経済、教育など日本の文化総体の撲滅を説いたのがポツダム宣言の中身だ。13カ条から成る簡潔な内容で、その第6条に「日本国民を欺いて世界征服に乗り出す過ちを犯させた勢力を永久に除去する。無責任な軍国主義が世界から駆逐されるまでは、平和と安全と正義の新秩序も現れ得ないからである」とある。

ポツダム宣言を一行も読まずに、それに反対しているのが安倍首相だ。軍国国家体制の徹底的な破壊を命じた歴史文書に反感を持つ、彼ら右翼思想の持ち主。そんな連中が中心になり長い期間をかけ印象操作したのが、8月15日「敗戦ならぬ終戦の日」という訳だ。

## 今月のトピックス

1 ……6・30シンポジウム
2 ……淀川の町の地歴探訪（12）
3 ……経営者会 全面広告
4 ……緊急提言「原発問題」
5 ……山元一英「全港湾大阪支部40年の道」
6 ……税を知る「ビールは贅沢な飲み物？」
7 ……JCIコンクリート工学年次大会
8 ……コンクリートのある風景

## 季折々 四 好調の理由は

今年も広島カープが強すぎる。昨年の優勝に続き、今年は独走し、他球団ファンはつまらなくなっている。パリーグでは楽天、ソフトバンクの2強態勢。この3球団が強い背景には、投打のバランス、外国人選手の活躍、若手とベテランの融合とか当たり前のことよりも、注目すべきは他にある。

カープはオーナー会社がない。野球素人の経営陣からの口出しや、しがらみがなく、球団側だけでチーム作りができることが大きな要因である。楽天、ソフトバンクについてはいずれもウエブサービス系で新規参入の球団である。セリーグで2位のDeNAも共通する。古い体質の球団経営から、これらの企業は斬新的にチーム作りをしてきたはずだ。人事をドラスティックに素早く行っているようにもとれるが、実はその時期のチーム状況ごとに、必要な人事を行なっているに違いない。

歴史の変革期である幕末でいえば、思想家としての吉田松陰が現れ、その後に高杉晋作、坂本龍馬らの革命家が躍動し、伊藤博文らが近代日本の礎を作り上げた。

これからはIT企業系球団の黄金期になるかもしれない。孫氏、三木谷氏、南場氏の経営学を少しでも学び、企業・業界の成就に生かしたい。

（上田純也）

# 淀川の町（大阪西部）の地歴探訪(12)

## 大阪労働学校・アソシエ学長　本山美彦




## 大阪と淡路(8)「菜の花」の島

江戸時代の画人にして俳人であった与謝蕪村は菜の花を愛していたのだろう。菜の花を詠んだ句が多い。「菜の花や　月は東に　日は西に」の句には、私も子供心をときめかした記憶がある（須磨の海を詠んだ「春の海　ひねもすのたり　のたりかな」と並んで）。実は、この句は神戸市灘区の摩耶山を詠んだものである。

やはり蕪村の「菜の花や　摩耶を下れば　日の暮るる」は、そのものずばり摩耶山が出てくる。当時、摩耶山には見渡す限り菜の花が咲いていたと言われている。

摩耶山頂にある（火災で今は奥摩耶に移転）天上寺（正しくは、忙利天上寺=とうりてんじょうじ）は釈迦の生母である「摩耶夫人」を祀った寺であるが、初午の縁日は名高かったらしい。摩耶が馬屋・厩に通ずるところから、多く人々が飼馬の無難を祈って、馬を連れて参ったらしい。

その後、摩耶詣が俳句の季題に選ばれたことから、摩耶山が俳句の山として有名になったという。正岡子規もこの地を訪れ、親子馬の句を残している。

飯田蛇笏（いいだ・だこつ）にもある。「菜の花の夜目に白さや　摩耶詣」。

今でも、同寺では春分の日の「摩耶詣」には沢山の菜の花が供えられている。

司馬遼太郎の『菜の花の沖』にも描かれているが、高田屋嘉兵衛が育った淡路島は当時も今も、春には全島が菜の花で覆われる美しさである。


天上寺の摩耶夫人

現在の芦屋市、神戸市東灘区、神戸市灘区の地は、江戸時代には「灘目（なだめ）」と呼ばれていた。この地は、海に面し、すぐ後ろの山手には急峻な六甲山が屹立（きつりつ）し（海抜九三〇メートル上る）、山から流れ落ちる芦屋川や住吉川の急流を利用した強力な水車が作られていた。

これら水車が、大量の菜種油を生産し、まず船で大坂に製品が運ばれたのである。

江戸時代、大坂・堺・平野郷の絞油業は、数は多いが人力による小規模なものであった。それを一八世紀前期以降、西摂津灘目の搾油能力の大きい水車絞油業が追い越したのである。

現在の東灘区の住吉、御影地区には、二五株（水車の数え方）の水車を持つ水車油稼専業の村（水車新田）もできていた。灘目全体では八一株もあった。

この地は「山田錦」の原産地でもあり、これを水車で搗き、宮水を汲んで（いまでも各地に宮水の井戸がある）、灘の酒処「灘五郷」が形成されたのである。

神戸は天然の良港であった。六甲山地が海岸線からほぼ三〇度西側に傾いていたので、昔の「大和田の泊」は、再度山麓に東側から沿う水溝が深く抉れて淀みを形成している構造を生かしたものである。

そのせいもあって、兵庫（神戸は三宮と兵庫が合わさったもので、神戸市の市章はこの地区が寄り添う図柄になっている。よく誤解されているが碇のマークではない）では海運業が盛んであった。

荷は、菜種油、灘の酒、そして淡路島の瓦であった。船頭は、多くが淡路島出身であった。過去から現在まで明石海峡を泳いで渡った人はゼロであることから分かるように、この辺りの潮の流れは非常に速い。この流れの速い潮に棹さす技術は相当に高いものであった。淡路島や阿波の人たちが、重い積み荷の船を操って、航行の難しい海を渡って、大坂の川を遡上したのである。

大坂の古来からの菜種油は現在の大阪市住吉区の遠里小野（おりおの）で生産されていたが、灘目のものによって駆逐されてしまったのである。

「鉄道唱歌」第五編、関西・参宮・南海編六三番、「遠里小野（とおさとおの）の夕あらし　吹くや阿倍野の松陰に　顕家（あきいえ）父子の社あり　忠死のあとは何方（いずこ）ぞ」。



## 6/29～7/1 6労組連合会と生コン経営者会が沖縄訪問

関西生コン関連労働組合連合会（建交労関西支部、全港湾大阪支部、UAゼンセン、生コン産業労働組合、近畿圧送労働組合、連帯労働組合関西地区生コン支部）と大阪兵庫生コン経営者会の代表団22名が、6月29日から7月1日まで、新基地建設反対運動の現場視察・激励と運動の共有を目的に沖縄を訪問した。

初日は、世界一危険な基地といわれている普天間飛行場（宜野湾市）を視察。住宅地の中にある普天間飛行場には、たびたび墜落事故を起こしているオスプレイが駐機していることが確認できた。

その後2004年に米軍のヘリ墜落事故があった沖縄国際大学（同）を訪問。キャンパス内には記念碑が建てられ、事故の悲惨さを物語っている。ヘリ墜落事故では米軍が墜落現場を封鎖し、日本の警察、消防、大学関係者が一切立ち入ることが出来なかったという、日本国内でありながら自治権が及ばない象徴的な事件だった。

二日目は新基地建設反対の最前線である辺野古のテント村を訪問。テント村に掲げられた「あきらめないのが勝利への道」の看板が印象的だった。

基地反対協の共同代表である安次富浩さんは「新基地建設に必要な土砂の確保は沖縄だけでは間に合わないため、奄美や徳之島、九州、四国から調達している。このことで山が破壊され、土砂崩れや洪水の被害が拡大する。辺野古新基地建設の予算はふくらむばかりで、東北大震災、熊本地震、広島の大洪水の被害者への支援は益々遠くなっていく。米軍に莫大な税金を注ぎ込むのではなく、災害復興や福祉、医療、教育に税金を使うのが日本国の使命ではないか」と訴えた。その後、6労組連合会・武建一議長からのメッセージを視察団団長の山元一英氏が紹介し、カンパ金を贈った。（写真左）



次に高江のヘリパッド基地建設反対のテント村を訪問。沖縄北部の高江地区は、天然記念物のノグチゲラなどが生息する静かな森林地帯が広がる。静かで自然溢れる高江を求めて都会から移住する方も多い。「ヘリパッドいらない住民の会」の共同代表である伊佐育子さんも「やんばるの森は命の森・県民の水源地です」と熱く語るが、昨年から始まったヘリパッド工事により、ノグチゲラなどが生息する森林地帯が切り裂かれ、オスプレイの轟音が響き、子供たちへの健康被害の心配で、高江地区から引っ越す家族も出ている。

この高江ヘリパッド建設反対の住民への弾圧は、権力が物量にモノいわせて反対住民を排除、反対運動のリーダー山城博治さんを長期に逮捕・拘留するなど、人権無視の攻撃が続けられている。先の国会で強行採決した「共謀罪」の先取りが今、沖縄で行われている。

今回の6労組代表と大阪兵庫生コン経営者会による沖縄視察団は、画期的な行動となった。安次富（写真左）さんは「沖縄の闘いを共有するには、それぞれの持ち場であきらめないで闘い抜くことです」と話す。繋げよう沖縄の闘いを。




灘の酒処 灘五郷

JFT
募集
協力会社
優良運転手
生コン産労組合員として労働者供給事業による日々雇用です。
TEL 06-6444-0101
FAX 06-6444-0942
〒550-0001
大阪市西区土佐堀1丁目6番20号
新栄ビル２Ｆ
連合・交通労連関西地方総支部
生コン産業労働組合　労供事業部

# 恒久平和を希求します

憲法「改正」を巡り与党内でも意見調整が進まない状況であるにもかかわらず、自民党独自の「改正」案を2020年の「改正」実現をめざし秋の臨時国会に提出する考えを明らかにしました。焦点となる自衛隊の取り扱いについては、その意義と役割を憲法に書き込むことを検討していると強調しています。

昨年8月、当会として「恒久平和を希求します」と題した声明文を表明し、平和を守るために全力を挙げて取組む姿勢を明らかにしました。また「平和を守ろう!」と広く国民に呼びかけ、大きく世論を喚起しました。しかしながら、本年7月5日の自民党の「憲法改正推進本部役員会」では引き続き憲法九条「改正」や首相権限の強化をはじめとする憲法「改正」に向けた姿勢を維持しています。

国民不在の中で平成29年（2017年）3月21日に「共謀罪」法案を閣議決定、6月15日に審議を一方的に打ち切り参議員本会議で強行採決しました。こうした強行姿勢は憲法「改正」の手続きにおいても行われるものと指摘せざるを得ません。我が国は、戦後一貫して日本国憲法の下で平和国家として歩んでまいりましたが、国民不在のまま進められる政府の一連の動きは、現憲法の平和主義をないがしろにし、戦争へと突き進んでいくのではないかと危惧するものです。

当会は、次の世代に負の遺産を遺さないためにも「憲法改正」に反対します。そして、平和を守り、ひとり一人のより豊かな生活が営める社会の実現のために、国民主権・平和主義・基本的人権の尊重を三大原則とする現憲法の趣旨を守り、もって恒久平和を希求するものです。

（7月12日 第17回理事会にて承認）

一般社団法人 **大阪兵庫生コン経営者会**
会長　藤 中 昌 則

## 急言 緊提

# 放射能被害を紛らわす福島医大
# チェルノブイリ事故の6倍もの癌発生数

■福島県で子供の被曝被害を訴える母親連絡会議資料から

2017年6月5日に公表された福島県民調査報告書によると、福島県の小児甲状腺癌および疑いのある子供の数は、3か月前の184人から6人増えて合計190人にも達した。

福島県側発表は甲状腺癌を「悪性ないし悪性の疑い」という言葉を使い、あたかも甲状腺癌でない子供もこの中に含まれているように言い、チェルノブイリ原発事故との比較を困難にしている。手術を終えた153人の中で良性だったのは1人だけで、99％は小児甲状腺癌だった。

山下俊一福島県立医科大学副学長は「県で多く見つかったのはスクリーニング効果、子供全員を対象に検査したことで潜在的な甲状腺癌患者がたくさん見つかったからで、小児甲状腺癌は増えていない」との弁明を押し通し、これに反発が起こっている。

◆

1986年のチェルノブイリ原発事故当時に生まれた子供達を、近隣のゴメリ州（現ベラルーシ共和国）で1万人近く診断した結果、甲状腺癌は8人だった。

福島県の人口はゴメリ州の4倍で、8人×4倍＝32人という数字で表れるはずが、その6倍以上の190人という高い数字となっている。それを「原発事故との因果関係はない」と強硬に否定する福島県立医科大の発表は、放射能汚染から県民の健康を守ることを放棄する姿勢でしかなく、現政権の代弁者だと批判されるところだ。

## 原発マフィア2号の中曽根康弘
## 米国を背景に原子力行政を強行

『黒い絆ロスチャイルドと原発マフィア』には、「中曽根は原発マフィアであった。それも戦後、（右翼の巨頭）児玉誉士夫の子分となり政治資金を貰っているうちに、児玉同様にアメリカCIAのエージェントになっていた」とある。

中曽根は1953年、ハーバード大学国際問題研究会のために渡米。この旅で面倒をみたのが同大学助教授で、ロスチャイルドのエージェントでもあったヘンリー・キッシンジャー。このまさに戦後米国政界の黒幕として日本の政治家を取り込んで行った人物らに操られ、日本の原子力行政は突然、開かれて行く。

せに出来ない攻撃が続く、80～90年代であった。この職場での雇用と労働条件確保での取り組み。全国産別ではこれら二つを背負ってその後の運動に広がって行くのです。

――80～90年代の運動で、産別運動だからこそ担わねばならない課題が上がって来たと。

山元　産別闘争こそ全港湾の基本というかルーツなので、他労組で産別的労働運動を目指す連帯労組関西生コン支部との共闘の流れに繋がって、これが79～83年には最初の広がりを見せ、84年連帯労組への第一次弾圧までには、全港湾のトラック運輸部門も含んだ一定の産業政策で団結する素地になって行った。

（左上に続く）

## 全日本港湾労働組合関西地方大阪支部 連載⑨

# 山元一英顧問「支部結成40年に寄せ」

それまでの個別企業での職域という小さい枠組みから、全国的な産業動向も視野に入れた、いわゆる全港湾型闘争形態へ。それは90年代に押し寄せた港湾労働の環境の大激変においても揺らぐ事はなかった。関西では本四架橋や関西新空港などの国家的プロジェクトで、それまでの職域を奪われようとする労働者と企業が。その声を代弁しようとする全港湾労働運動の真価が問われた。



連載⑨

――個社闘争の視点から、全国労組として主要目標でどんな広がりが。

山元　港湾労働で当時の全体課題は、5・9協定（※）締結に関わるものが主力だった。コンテナ時代の雇用を訴え、10日間連続の全国コンテナヤード封鎖など、雇用確保を中心とする産別闘争の時代となって来た。

――5・9協定は長い闘いだったと聞きますが。

山元　年間休日設定など、労働提供区分をきっちり定める事ではあった。諸外国船の扱いでは、特に米国から「365日通関をフルオープンせよ」との厳しい外圧の年代だった。

――全世界のコンテナ化で、旧来の労働慣行までも破棄、情け容赦なくせよとの圧力ですね。

山元　これらの押し付けに対し、「我が国の労働慣行を守れ」という声を上げざるを得ない。もう一つは、政府によって労働法の改定（改悪）問題が公然化してきた。この労働法改悪問題も、今日の労働状況（非正規など雇用流動化）に直結するゆるせに出来ない攻撃が続く、80～90年代であった。この職場での雇用と労働条件確保での取り組み。全国産別ではこれら二つを背負ってその後の運動に広がって行くのです。

――80～90年代の運動で、産別運動だからこそ担わねばならない課題が上がって来たと。

山元　産別闘争こそ全港湾の基本というかルーツなので、他労組で産別的労働運動を目指す連帯労組関西生コン支部との共闘の流れに繋がって、これが79～83年には最初の広がりを見せ、84年連帯労組への第一次弾圧までには、全港湾のトラック運輸部門も含んだ一定の産業政策で団結する素地になって行った。

（左上に続く）



小さくても精鋭の分会リーダーとして。（前列中央 山元さん）



本四架橋合理化紛糾港湾協定

本四架橋闘争で全港湾の力量が

## コンテナ化、本四架橋 産業と労働を守る闘争から今に繋がる成果

――90年代頃、関西では本四架橋闘争という大きな出来事が。

山元　明石から淡路への架橋で、徳島や高知航路など従来の職場が奪われるという事態で、最盛期には関西を中心に、バス10数台、1000人の動員で抗議活動に結集した。その結果、国交省本四架橋公団、地方自治体も巻き込み、架橋雇用に関する制度協定へこぎつけた。

――全国組織たる全港湾組織、闘争力でこそ政府組織を揺さぶれた。

山元　それまで海員組合などは、船員法に基づいて政府との間で雇用保障の協定があったが、港湾労働者にはそのようなものはなかった。それ故に本四架橋闘争では、雇用を前面に立てた戦いが組まれてきた。更に、港湾事業で被害を受けた企業に一定期間の政府保証をせよとも迫った。

続いて架橋で発生するサービスエリアなどの職場で、港湾労働者の優先雇用を求める生活権確保の形になって行った。

――雇用保証を求める闘いとなって行く時代ですね。

山元　それは大きな関心事で、国と地方自治体を含め、港湾労働者雇用で協議するとの約款が結ばれる流れになる。

これ以後、航路が無くなる労働者の失業保険も、普通は1年半の所を、2年特別追加させたり、被害企業の岸壁使用料を減免させるなど、企業・労働一面で権利確保を訴えた。政府などを相手にこれまで交渉を重ねた経験と歴史がここで活きた訳でね。

労働提供区分をきっちり定める事ではあった。諸外国船の扱いでは、特に米国から「365日通関をフルオープンせよ」との厳しい外圧の年代だった。

――全世界のコンテナ化で、旧来の労働慣行までも破棄、情け容赦なくせよとの圧力ですね。

山元　これらの押し付けに対し、「我が国の労働慣行を守れ」という声を上げざるを得ない。もう一つは、政府によって労働法の改定（改悪）問題が公然化してきた。この労働法改悪問題も、今日の労働状況（非正規など雇用流動化）に直結するゆるせに出来ない攻撃が続く、80～90年代であった。この職場での雇用と労働条件確保での取り組み。全国産別ではこれら二つを背負ってその後の運動に広がって行くのです。

――80～90年代の運動で、産別運動だからこそ担わねばならない課題が上がって来たと。

山元　産別闘争こそ全港湾の基本というかルーツなので、他労組で産別的労働運動を目指す連帯労組関西生コン支部との共闘の流れに繋がって、これが79～83年には最初の広がりを見せ、84年連帯労組への第一次弾圧までには、全港湾のトラック運輸部門も含んだ一定の産業政策で団結する素地になって行った。

（左上に続く）



本四架橋合理化紛糾港湾協定

本四架橋闘争で全港湾の力量が

## 全国1万2千人の大組織 産別労組の雄「全港湾」

# 大阪支部40年の道

全港湾＝港湾・トラック・倉庫・関連企業などに働く労働者が集まった、海陸一貫輸送を担う産業別労働組合で、前記の事業を中心に、1万2千名が結集する“全国単一組織”の組織形態をとる。組合員が企業から不当な仕打ちを受けた場合、それは全港湾全体に対する攻撃であり、全国すべての組合員がその企業に対して反撃する権利を有する。

## 解説

# 戦後労働運動史を駆け抜けた――全港湾産別闘争の歴史 1976▼1985

1976年4月／港湾年金制度確立を要求。全国統一ストで組合員2名が不当逮捕

6月／ILO湾労働条約の批准を求め国会に請願書／本四架橋にともなう港湾陸上運送雇用問題化

9月／日港協と港湾労働者年金制度に関し協定書

1977年4月／神戸支部・労働条件改悪で長期スト

7月／米・日本ほか5ヶ国参加で太平洋地域労働者雇用安定セミナー

10月／沿岸東・南・石炭、軍両・木材5支部が統合し大阪支部を結成

12月／トラック労働者交流集会を開催〔東京〕

1978年3月／港湾年金の第1回支給

4月／七尾支部、七尾火電反対闘争で地域共闘

8月／日港協と産別最賃について協定

9月／関西汽船グループの民主的再選闘争

10月／長崎支部、原子力船むつ入港で阻止闘争

1977年4月／全港湾共済年金スタート／トラック労働者の業務上事故等に関する協定

8月／本四連絡橋雇用対策中央協議会が発足

12月／労働省「自動車運転者の労働時間改善の基準」

1980年1月／5・30安定協協議会の設立

3月／本四架橋闘争の中央行動

9月／レッカー分会長暴力団に負傷させられる

11月／新潟港粉じん調査／金大中氏救出を要求し2港で韓国船の荷役拒否

1981年2月／本四架橋中央調査委員会、港湾労働雇用に影響ありと発表

3月／年金闘争のピケを正当と裁判所が判断

10月／米国輸入果物の薫蒸に発癌物質で、作業者供給事業組合結成に参加

4月／港湾運送事業法改悪阻止中央行動

7月／大阪港で、ニトロ化学物質で12名が中毒／健保改悪阻止でスト

10月／労働者派遣事業の立法化構想に反対表明

1985年1月／名古屋支部はしけ乗組員に解雇通告

4月／じん肺法が港湾荷役作業にも適用

5月／本四架橋第3セクター発足

8月／日港協、港湾労働安定基金新設を認可

9月／プラザ合意で65ドル高是正を合意

10月／反核100万人行動

12月／事前協議協定違反船での作業拒否

1982年1月／沖縄港運、那覇港運で希望退職募集

4月／木材労働者の雇用確保中央行動

5月／総評、反核東京行動に40万人

8月／木材輸入商社が基金拠出を拒否

12月／港運構造改善促進財団設立

1983年1月／関西新空港反対で集会／田中角栄の議員辞職を求める中央行動

5月／本四架橋闘争で政府と雇用協定書を締結

12月／港福理事会、第2次交付金打切り強行決定

1984年2月／労働者供給事業の立法化構想に反対表明

4月／港湾運送事業法改悪阻止中央行動

7月／学物質で12名が中毒／健保改悪阻止でスト

10月／労働者派遣事業の立法化構想に反対表明

1985年1月／名古屋支部はしけ乗組員に解雇通告

4月／じん肺法が港湾荷役作業にも適用

5月／本四架橋第3セクター発足

8月／日港協、港湾労働安定基金新設を認可

9月／プラザ合意で65ドル高是正を合意

10月／反核100万人行動

12月／事前協議協定違反船での作業拒否

### ※5・9協定とは

1991年5月9日、全国港湾労働組合協議会と全日本港湾運輸労働組合同盟が、雇用主窓口である社団法人日本港湾運送協会との間で結んだ、「賃金」「労働時間」「雇用の安定」「保証制度」「全港湾協定」産業別最低労金の設定や、労働時間の短縮、週休2日制を盛り込み、年間総労働時間を1800時間に短縮する年次目標、年金制度の充実改善の取り組みなど、画期的項目が盛り込まれていた。

## 地域NEWS 業界

### 7/3 懇話会 定時社員総会開催

一般社団法人 関西生コン関連中小企業懇話会（坪田健一理事長）は、7月3日、協同会館アソシエで第9回定時社員総会を開催した。

総会では前期の事業活動報告、決算報告、監査報告が承認されたのに引き続き、今期の事業活動計画案、予算案について提案され、全員一致で承認された。

また役員人事に関して今期の改選は無く、坪田理事長はじめ現役員体制で新年度に臨むことが確認された。

### 7/6 地域の子どもを受け入れて あわじ寺子屋 一周年

昨年3月に開設されたあわじ寺子屋（大賀喜子理事長）が一周年を迎え、更なる取組み拡大を目指し、7月6日、労働組合など へ協力を呼びかける見学説明会を開催。各職場や地域での子どもの受け入れ施設開設や、同団体運営の「子ども食堂」への協力などを訴え、地域密着型福祉活動への理解を求めた。

この取り組みは、昨年閉校になった西淡路小学校跡地（東淡川区）の図書室と学習園を借りてスタート。「全ての子どもに居場所を」をテーマに、平日の17時～21時に小学生の宿題支援や中高生の学習指導などで、これまで、延べ4501名もの地域の子供を受け入れてきた。

また、経済的に苦しい家庭の子どもの孤食からの解放を掲げ、休校期間中には地域商店街と連携した「子ども食堂」も開設。現在4店舗が協力し、子どもたちの孤独な食卓をなくす運動も軌道に乗った。

大賀理事長は「今こそ『大砲かバターか』を問いたい」として、労働組合ほか広範な社会人層の積極参加を訴えた。

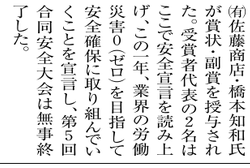


### 7/8 近バラ協・輸送協 第5回 合同安全大会 開催

近畿バラセメント輸送協同組合連合会・田口義隆常務理事、全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部・武建一執行委員長らがそれぞれ両協組の安全への取組に対する激励の言葉や提言をいただくと同時に、この取組みをつくることなどの課題を提起していただいた。

また、輸送協・稲葉忍専務理事からは安全方針の提起が行なわれ、この一年間に発生した死亡事故や作業事故などの事故事例についての報告と、「ハインリッヒの法則」に基づく安全点検の実施、問題点の解決に向けての取り組みを強化していくことなどが述べられた。

続く表彰式では、各企業・団体から推薦を受けた安全衛生優良者14名の名前が読み上げられ、受賞者を代表して㈱コーイキリース・井上卓郎氏、㈲佐藤商店・橋本知和氏が賞状、副賞を授与された。受賞者代表の2名はここで安全宣言を読み上げ、この一年、業界の労働災害0（ゼロ）を目指して安全確保に取り組んでいくことを宣言し、第5回合同安全大会は無事終了した。





近酸運輸株式会社
代表取締役　岩永光雄
〒559-0021　大阪市西区川口二丁目四番二号
電話（〇六）六五八三一（八七七七）
FAX（〇六）六五八三一（八七七五）

吉野建設 株式会社
代表取締役　中坂浩國
〒651-0077　神戸市中央区目暮通五丁目四―四
電話（〇七八）二三二―八〇一一
FAX（〇七八）二三二―三〇〇九

株式会社 スズキケンセツ
代表取締役　鈴木貞雄
〒573-0012　大阪府枚方市禁野寺四五八〇―七
電話（〇七二）八五八―七四二九
FAX（〇七二）八五九―二九三〇

株式会社コーイキ輸送
代表取締役　海老鼻康三
〒573-0022　大阪市東淀川区菅原四丁目六番四号
電話（〇六）六三二五―八八二五代
FAX（〇六）六三二五―八八二八

株式会社 ティーワイケイ高槻生コン
代表取締役　門田哲郎
〒569-1012　大阪府高槻市大字成合百三十三番地の四
電話（〇七二）六八八―七九〇〇
FAX（〇七二）六八八―七九〇一

渡辺千賀子 アソシエ後援会
〒533-0032　大阪市東淀川区淡路三―六―三一
電話（〇六）六四八六―二一四〇
FAX（〇六）六四八六―二一四〇

Kinbara
近畿バラセメント輸送協同組合
近畿圏600台のセメント輸送ネットワークで
安全・効率化に貢献します。
Kinbaraは安心のマーク
理事長　毛屋和重
〒533-0032　大阪市東淀川区淡路3-6-31
協同会館アソシエ2F
TEL 06-6328-4700　FAX 06-6328-4701
近畿生コン関連協同組合連合会　加盟（近バラ協・輸送協・近圧協）

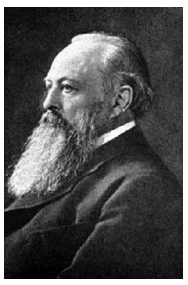
生コン業界関連団体の組織強化と
中小企業の安定を目指した活動を推進します
一般社団法人
関西生コン関連中小企業懇話会
理事長　坪田健一
〒533-0032 大阪市東淀川区淡路3-6-31協同会館アソシエ2F
TEL06(6329)1001　FAX06(6329)7900
ホームページ　http://www.konwakai.org/

# 今月の視点

国民の声に耳を傾けず暴走していましたが、7月の東京都議選、仙台市長選での自民党の敗退を受けてのことか、7月24、25日に行われた衆参院予算委員会の閉会中審査でも、言葉を荒げることさえあります。困るのは、その力のない人物が国のトップに上り詰めたときです。国民に多大な犠牲を強い、場合によっては不要な戦争に巻き込み、多くの死者を出すことさえあります。

その権力者の暴走をチェックするために、メディアが存在しています。ナポレオン・ボナパルト（1769～1821）は、「私は百万の銃剣よりも三枚の新聞紙を恐れる」という言葉を残しています。司法、立法、行政と並んで、メディアはその影響力の大きさから「第四の権力」と言われています。メディアが政治権力の味方になったとき、政治権力は無敵になります。本来、メディアは権力をチェックして伝えることが使命のはずです。それは権力が腐敗しやすいからです。それだけにメディアの責任は重いのです。偏ることなく、真実を伝えることがメディアの本質であることを、もっと考えるべきではないでしょうか。

## 権力は腐敗しやすく絶対的権力は絶対に腐敗する
### ――ジョン・アクトン



■ジョン・アクトン■

イギリスの歴史家・思想家・政治家。1834年イタリアのナポリに生まれ。1859年英国に移住。同年から1865年まで下院議員を務めた。1869年に男爵。著書の『自由の歴史』では自由主義の研究につとめ、『フランス革命講義』ではフランス革命を批判し続けた。1902年没。

安倍首相の暴走が止まりません。特に2016年の参議院選挙での与党勝利で、いわゆる「ねじれ国会」が解消されてからは、数の力に任せた強引な国会運営が目立ちます。「安全保障関連法」「労働者派遣法改正法」「マイナンバー」、今年に入ってからは「共謀罪」を強行採決し、さらには突然「2020年の改憲を目指す」とまで言いました。

対に腐敗する」と言いました。権力を握ると人が変わったように、悪逆非道な政治を行なうということは、古今東西を問わず行われてきたということです。困るのは、その力のない人物が国のトップに上

# 【税を知る】シリーズ
## ビールは贅沢な飲み物？①

今年6月1日より「改正酒税法」が施行され、仕入れ代に販売管理費を加えた総販売原価を下回る「原価割れ販売」が厳しく規制されることになりました。この規制はスーパーやディスカウントストアでの安売りを規制して、過度な値下げから一般酒店を守るためだとしています。

これを受けてメーカーは、スーパーなどへの販売奨励費（リベート）を減らしたため、ビールの店頭価格が上昇しました。このためビールは購入場所にかかわらずほぼ同じ価格になったことから、消費者の購入先は政府の思惑した酒屋には向かず、利便性の高いコンビニエンスストアに流れていっているようです。メーカーとしてはリベートを減らす大儀を得ることができ、安売り体質から脱却できるため基本的には歓迎しています。一方の消費者は高い価格で買うことになってしまいました。

現在、ビール系飲料には大きく分けて「ビール」、「発泡酒」、「第三のビール」の三種類があります。「ビール」は原料に麦芽の割合が3分の2以上のもの、「発泡酒」は同様に3分の2未満のもの、「第三のビール」は麦芽を未使用のものか、発泡酒に別のアルコール飲料（大麦、小麦等を問わない麦由来のスピリッツや焼酎）を混ぜたものと区分けされています。

酒類には酒税（国税）が課せられています。【図1】は主な酒類の税率をあらわしたものです。税率は1キロリットルあたりで決められており、その税率をアルコール度数で割ると、アルコール分1度あたりの税率がわかります。ビールの酒税額が際立って高いです。税金は350ml缶では77円、500ml缶では110円にもなり、350ml缶の価格を220円だとすると、35％が税金ということになります。

【図2】はビール350ml缶あたりに占める酒税負担額です。日本のビールの税金はアメリカの8・5倍、ドイツの19倍にもなります。

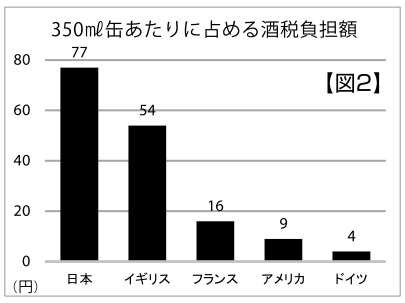
そもそも、なぜ日本のビールの税金はこれほどまでに高いのでしょうか。ビールが日本で飲まれるようになったのは、明治時代に入ってからです。当時のビールは「舶来の高級品」で、富裕層しか飲めませんでした。富裕層に高い税金を払わせるという道理から、1901年（明治34年）にビール税が導入されました。明治維新後の税制構築の際、税収のほとんどを土地と酒税が占めていたといわれています。ですから当時の税制の考え方は、「富裕層から出来るだけ多くの税金を取る」「贅沢には課税する」というものだったといえます。当時、ビールは高級輸入品でしたから、この考え方に従って高い税金が課されていました。

この考えでいけばビールが高級品ではなくなった場合、日本の場合、高度経済成長期を経て、ビールが一般大衆のものになった頃には、ビールの税金は安くなってもいいはずです。しかしビールの税金は高いままでした。1984年の参議院大蔵委員会で「なぜビールの税金が高いのか」という質問に、当時の大蔵省主税局長は「我が国のように、一般的な消費税の体系を持たない国では、どうしても酒税の税負担が高くならざるを得ない」と答弁しました。

当時の日本には消費税（付加価値税）は有りませんでしたから、広く浅く税金を取るという意味ではビール税を高いままにさせる意味はあったのかもしれません。しかし、「取れるところから取る」という魂胆が見え隠れしているようにも思えます。それが明らかになったのが1989年でした。

| | 1キロリットルあたりの税率（円） | 一般的なアルコール度数（度） | 酒税額 1度10あたり（円） |
|---|---|---|---|
| ビール | 220,000 | 5 | 44 |
| 発泡酒 | 134,250 | 5.5 | 24 |
| 第三のビール | 80,000 | 5 | 16 |
| チューハイ | 80,000 | 7 | 11 |
| 清酒 | 120,000 | 15 | 8 |
| ワイン | 80,000 | 12 | 7 |
| ウイスキー | 370,000 | 37 | 10 |
| 焼酎 | 200,000 | 25 | 8 |

【図1】




※1ポンド167円、1ユーロ125円、1ドル112円で計算。

生コン会社専用システム
生コン業界を知り尽くした当社が、現場の声に耳を傾け、その要望のすべてに配慮した「リバティ」シリーズ。
使い勝手の良さに自信あり！ 導入の効果に自信あり!!
多数の導入実績もあり、安心して導入いただけます。
Liberty Series
品質・出荷・販売管理、GPS、協同組合システムなど…
「リバティ」シリーズは、各ソフト間の高い連携により
トータルに効率的な管理が可能になります。
株式会社 リバティ ☎(078)733-8080
〒653-0055 兵庫県神戸市長田区浪松町5丁目1-19 Fax.(078)733-9090
URL http://www.liberty-kobe.co.jp E-mail info@liberty-kobe.co.jp

兵庫県中央生コンクリート協同組合連合会
会長 溝尾 廣治郎
〒650-0037 神戸市中央区明石町44番地 神戸御幸ビル 4F
TEL 078-331-1128 FAX 078-331-1206
安心と信頼の品質を追求します。
高品質の生コンクリートを安定供給。
神戸生コンクリート協同組合 TEL078-331-1201
北神生コンクリート協同組合 TEL079-563-3151

近畿生コン輸送協同組合
理事長 大橋 邦夫
〒533-0032 大阪市東淀川区淡路3-6-31
協同会館アソシエ2F
TEL06(6328)5900 FAX06(6328)6400

# 伊達なコンクリート、未来を拓く

## コンクリート工学年次大会2017（仙台）

### ～DATE CON for the future～
### Durable Attractive Tough and Elegant

第39回日本コンクリート工学会（JCI）が主催するコンクリート工学年次大会2017仙台が、7月12日～14日に仙台国際センター（仙台市青葉区）において開催された。「伊達なコンクリート、未来を拓く」は、東日本大震災に匹敵する慶長三陸津波（1611年）の甚大な津波被害から仙台藩沿岸部復興に尽力した伊達政宗公にあやかり、「伊達な」コンクリートで東北ひいては日本、そして世界の未来を拓くという意味を込めたキャッチフレーズで、大勢の来場者を集めた。




## ポーラスの有用性を発信

初日、大会実行委員長鈴木基行氏（東北大学名誉教授）は、「近年になく、81社と非常にたくさんの企業の参加をいただきました。テクノプラザは最新の技術開発、或いは材料開発、工法、維持管理など、コンクリートの展示、技術紹介をする催し、皆さん3日間よろしくお願いします」と挨拶し開会した。

企業・団体がブースを構える新技術展示のコンクリートテクノプラザに、グリーンコンクリート研究センターは今回で7度目の出展となった。この日のためにポーラスコンクリートの植木鉢に植物を挿し木して育てた作品を中心に、骨材をコルクで代用した水に浮くコンクリートなども展示した。植木鉢の特徴は、土を一切使わず、ポーラスの揚水性を利用し、水に浸しておくだけで植物が育ち、管理しやすいところだ。




グリーンセンターのブースに立ち寄る人たちは鉢植えに関心を持ち、スタッフに色々な質問を投げかけ興味深げに聞き入っていた。ポーラスを研究する方も多く訪れ、スタッフと互いに知識を共有し、大いに盛り上がった。

また、今年は毎年の要望に応え、プレゼント用の鉢植えを用意し、希望者に配布し喜ばれた。回を重ねるごとに認知度も高まっている。3日間の大会来場者数は延べ約13,000名、内テクノプラザの来場者は延べ約7500名と大盛況のうちに幕を閉じた。

グリーンセンターでは140名程の見学者を迎えることができた。大会には、グリーンセンター坂井、根本、協同会館アソシエ池田、組合総研山村の4名ほか、グリーンセンター理事・監事松浦氏、毛屋氏が参加。

## 東北発 復旧、復興、そして未来へ

生コンセミナーは、「東北発地域にあった生コンのあり方を考える～復旧、復興、そして未来へ～」をテーマに、東北及び各地域の生コンの現状と将来をテーマにした基調講演と、パネルディスカッションが行なわれた。

復旧では、材料不足の中、生産設備、輸送力の確保をして、自らの工場の立て直しを図り、あらゆる困難に見舞われても、それを克服して復旧工事に生コンを供給している現状を。復興では、コンクリートの品質確保・耐久性確保を取り上げ、東北での構造物の点検データを分析する中で、これまでと同じ材料、施工では優れたコンクリート構造物は作れないという結果が出ている。

また、寒冷地である東北は構造物の環境条件が厳しいことも分かったとの報告がされた。

「キング・オブ・コンクリート」は、学生がコンクリート鍵盤打楽器を作成し、耐久性、演奏、曲げ強度、楽器性能を競った。総合優勝は、横浜国立大学。準優勝は浅野工学専門学校、第3位は熊本大学という結果となった。

来年度の年次大会は、7月4日～6日の3日間、神戸市の神戸ファッションマートでの開催となる。キャッチフレーズは、「美・永・都コンクリート」だ。


参考作品・長岡工業高等専門学校

# マイスター塾 中級コース

## 第6回・第7回 講義模様




6月24日の第6回講義は、高井陽一朗建築設計事務所代表、また京都造形芸術大学非常勤講師を務める高井陽一朗氏を講師に「建築をつくるプロセス」の講義を行なった。

高井講師は学働館・関生（大阪市西区）の設計に携わった経験をもとに、設計から工事管理、建築確認の流れを説明。人の命を預かる「もの」を造る以上、デザインより、まずは安心・安全をメインに考えて仕事をしていると強調した。


高井 講師

また南海電鉄に依頼された特急ラピートのデザインにも関わった経緯、車両の完成までの話は、塾生の興味を惹いていた。

7月9日の第7回講義は、協同会館アソシエに勤務している応急手当普及員の資格を持つ職員3名を講師に、「普通救急救命実技講習」を行なった。

急病人発見時の初期対応や人工呼吸、心臓マッサージ、AEDの使い方について説明を聞いた後、心肺蘇生訓練用人形と練習用AEDを使って一連の流れを全員が体験した。その後、三角巾を使った応急手当も学んだ。



今回の講習を通じて、改めて救命処置への意識を高める契機となるとともに、適切な手順を学ぶことができた。

### ■塾生レポートから

・設計士さんの話を初めて聞いて、普段、現場で作業している私の知らない色々な事や、色々な人達の協力で建築は成り立っているなと感じました。これからもその一つの工程に関われている事を意識して、気合を入れて作業していきたいと思います。

・以前に何度か体験したことがあったので、簡単にできると思っていました。いざやってみると、人工呼吸など意外に難しく、体力がいることも感じました。AEDを使用したのは初めてでしたが、今では歩いている時とかにAEDが目に入るようになりました。



・今回の講習で、救急車が来るまでに自分の出来る事があることを知り、これからの人生で何かあった時に、少しは前に出て誰かの力になれると自信がつきました。自分なりにこういうふうにしてあげると楽になるというのが分かっただけで、すごくいい経験になりました。

近畿生コンクリート圧送協同組合
理事長　豊田 明彦
近圧協
〒533－0032
大阪市東淀川区淡路3－6－31
協同会館アソシエ2F
TEL 06－6328－3900　FAX 06－6328－3901

# 職員研修のご案内

組合総研・経営者会共催による第15回職員研修を催します。

講演内容は、松下村塾を開き、幕末より明治期の日本を主導した人材を多く輩出したことで知られる吉田松陰を取り上げます。

松蔭がモットーとした、平等、学ぶ事の大切さ、行動の大切さ、自分が蒔いた種はいずれ誰かが実らせてくれるなどの考え方は、現代の企業の経営者の中でも教訓としている人達も多く、その功績は今も続いているといえます。

日時：9月15日（金）
17時30分開演
会場：協同会館アソシエ
3F ホール2
講師：選定中
■お問い合わせは組合総研（06-6328-5577）まで



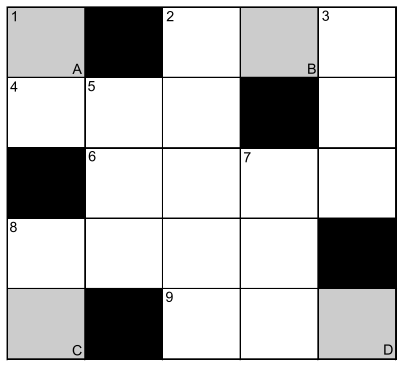
【吉田松陰】
1830年、長州藩出身。欧米遊学を志し、ペリー艦隊（黒船）に密航を企てて失敗し投獄。出獄後、萩で松下村塾を開き、高杉晋作や伊藤博文、山県有朋ら維新の人材を多く育てた。1859年、安政の大獄で死罪となった。




## 8月のクロスワード

クロスワードパズルを解いて、A～Dに入る文字を並び換えて出てくる言葉を答えてください！

提言137号のクロスワードはお休みしました。



【タテのカギ】
1．「○○は大敵」といいます。オフィスの冷房に注意。
2．今年は8月13日によく見えます。
3．一か八かのチャンスの時に伴うもの。
5．普通にいわれている内容とは違う珍しい話。
7．親指を立てて、○○○、○○○、○○○。
8．山○○。犬○○。牛○○。

【ヨコのカギ】
2．「やぁやぁ我こそは～」と何をあげる？
4．【ヨコ9】を日本語では？
6．元々の意味は「壊す」。今では「人気が出る」という意味。
8．大型トラックなどが集団で走行する様子。【ヨコ4】にもなりました。
10．ロシア語で「キノー」。ドイツ語で「フィルム」ではフランス語では？

〔正解者6人に抽選で図書券進呈〕　お名前・住所・電話番号・答えを葉書、FAX等に記載し組合総研編集部に8月20日までにお送り下さい。提言へのご意見なども。お待ちしております。

コンクリートのある風景 114



# 社員は経営者の背中を見て学ぶ
## 安田産業株式会社
## （滋賀県守山市立入町）

琵琶湖の環境を考え、産学連携で生物の共存に取り組んでいる生コンクリート工場が滋賀県にある。安田産業株式会社だ。時代の流れとともに、コンクリートも二次製品に変わりつつある中、同社は生コンクリートの用途に知恵をしぼっている。

安田産業株式会社の安田信夫代表取締役社長は、先代から工場を引き継いで25年になる。元は砂利の製造を手がけたが、原石の入手が難しくなり、生コンクリートへと転換。

1958年、仮設プラント（現工場の西）から始め、64年に現在の場所でプラントを設立。ちょうど、日本が経済発展を遂げた時代で、同県もマンションなどの需要から急成長した。65年ぐらいには、県内が一番安定していたが、「その頃と比べると今は、ピークの三分の一にも満たない状況です」と社長は語り、懐かしく思い出す物件に、栗東駅前に建つ高層マンションをあげた。日本で初めてといわれる鉄筋コンクリート造。それまでは鉄骨造が主流。



工場データ
操業年月日：1950年3月
ミキサー：強制二軸撹拌式
公称能力：120㎥／h
運搬車保有台数：10ｔ9台・4ｔ2台
技術者：コンクリート主任技士　2名（内1名はコンクリート診断士）・コンクリート技士　1名

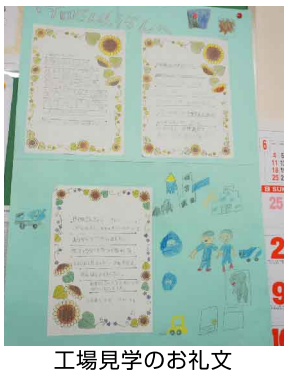
岩内正樹技術部長も、「あまり関わっていなかったのですが、話を聞いて佐川美術館がすごい」と答えた。1998年に、佐川急便創立40周年記念として琵琶湖湖畔に設立された建物。ブラックコンクリートの打ちっ放し仕上げ。多くの賞に輝いた建築物に相当苦労があったそうだ。なかなか思うようなブラックの色にならず、何度も試験を繰り返し、漸く「OK！」と。努力が報われた瞬間。同時に達成感で一杯だったと話した。

### 環境に特化

大学と連携して、多孔質のポーラスコンクリートをアピール。例えば、琵琶湖の湖畔にポーラスコンクリートを入れる。時間の経過から藻や海草が付着する。生物の多様性の保全に繋がる、人に役立つコンクリートを提供する。コンクリートが持つ、「冷たい、硬い」だけのイメージを変えていく目的もある。

また、栗東を流れる川の堤防にも、草花が生えるよう、ポーラスコンクリートを敷いている。

岩内技術部長は、「ポーラスは、練りにくいというわけでもないし、ミキサー車からも出にくいこともない。用途に応じて骨材の大きさを変えれば、もっと拡がると思う」と考えを話し、「若い人は色々な発想ができる。面白い



工場見学のお礼文

### 次に繋げる使命

課題は、収益を上げてプラントを建て替え、次の世代に引き継ぐ。そのために「私の時代にしっかりとした道をつくっておかなければいけない」「いずれにせよ、業界をよくするために努力あるのみ」と、意欲を高めた社長だ。

今、滋賀県の値段は徐々に上がっている。皆が競争をすれば値段は下がる方。今を継続するには、同業者同士で争いを起こさないことだとも話す。工場見学も実施している。もっとコンクリートを身近に感じてもらえるように。

築住宅。若い世代が増えて少子高齢化が逆転している。

子どもの工場見学も

の周りは見渡す限り新

## 提言文芸

~投稿歓迎~

・「国守る」叫ぶ政治家　うさんくさい（アベと無知）
・沖縄と　心でつながれ　関西は（孝江）

大義名分を大声で叫ぶ人は、何かウラにありそうです。裏表のない、誠実な発言が政治家には求められると思うのですけどねぇ。基地は沖縄だけの問題ではなく、自分たちの身に置き換えて考える必要があります。国民全体が手をつないで頑張りましょう。

昭和産業株式会社
代表取締役　矢倉完治
〒598-0034
大阪府泉佐野市長滝三六四七番
電話（〇七二四）六六一七〇〇七代
FAX（〇七二四）六六一二一五〇

交運労協　生コン産業政策協議会

全日本建設運輸連帯労働組合
関西地区生コン支部
執行委員長　武 建一
〒550-0021
大阪市西区川口2-4-28
TEL06-6583-5546
FAX06-6582-6547

連合・交通労連関西地方総支部
生コン産業労働組合
執行委員長　北小路 敏樹
〒550-0001
大阪市西区土佐堀1-6-20-205
TEL06-6444-0101
FAX06-6444-0492

全日本港湾労働組合
関西地方 大阪支部
執行委員長　樋口万造
〒552-0021
大阪市港区築港1-12-27
TEL06-6575-3131
FAX06-6575-3134